



▲ 天に向かって放り上げる



▲ 数え19歳の若者が集落を練り廻る



▲ 約1時間後、神社へ奉納

亀塚集落で行われる年に一度の恒例行事「亀塚練馬」が一月二十二日に行われました。
 練馬は無病息災、五穀豊穡を祈りながら集落内を練り廻り、神社に奉納するまで決して地につけてはならないといわれています。
 しかし、若者たちは沿道で家族や知人が見守るなか、自らの気合と力を誇示するかのごとく「いっぽんなりや」のかけ声にあわせて約三百キロの練馬を天にむかって放り上げます。
 亀塚練馬は集落の一大行事のため、多くの人たちがその準備にかかわり地域が結束し、世代間の交流が深まる時でもあります。
 (紹介記事2ページ)

亀塚練馬

先人の精神を伝え継ぐ



▲ 真野地内から蓮濁地内にかけての加治川用水



▲ 加治川の源、内ノ倉ダム



▲ 真野地内 (金龍橋付近)



▲ 町内の小中学生を中心に実施された「生き物調査」(蓮濁新田地内)

加治川用水 疏水百選に認定!

農村の高齢化、農業の国際競争への対応、環境意識の高まり、こうした状況が重なって日本の「水・土・里」は、今大きな曲がり角にきています。農林水産省では、日本の美しく豊かな「水・土・里」を育て維持していくことが重要と考え、そのなかでも農業のための用水をテーマとして「疏水百選」を実施しました。

疏水百選には、全国四九地区の候補から二八四地区の一次

選定を経て、一一〇地区が「疏水百選」として認定され、加治川用水は、新潟県で「亀田郷」とともに認定されました。

飯豊連峰、二王子岳等から流れ出る加治川のきれいな水は、咲き誇る桜を映して静かに流れていました。水深が浅く保水性のない地形と土層のため大雨の都度水害を繰り返してきました。特に昭和四十一年、四十二年の水害での破堤氾濫は大きな被害をまねき、これを機に堤防が改修されるとともに真野から下流の蓮濁までは国営及び県営の用水路として整備されました。

疏水としての歴史は古く寛永末期(一八五二年頃)、新発田藩主の溝口家が治水を行うよう

になってからは、住民も貢税拡大のため築堤、耕地拡大、用水樋門管等の施設を設置するようになり、このために水害は増加していきましたが瀬替えされたことにより近郊地開発が進みました。

加治川は他の河川と違って排水川としてではなく、用水川として耕地形成に参与してゆく形をとる、特徴的な形態をしていますが、下流では鮭・鱒などの人工孵化が行われており、自然の水生動物も豊富なことから、疏水百選に認定されたことを機会に皆さんも今一度、ふるさとの川「加治川」に足を運んでみてはいかがでしょうか。

※疏水…水運・かんがいなどのために、土地を切り開いて造った水路
※かんがい…田畑に必要な水を、人工的に引いて来て供給すること。



▲「腰みの」と「わらじ」を着け出発準備



▲ 公会堂での練馬づくり 長さ約 5m、重量約 300kg



▲ 神社へ練馬を奉納した後、「腰みの」と「わらじ」を木に縛る



▲ 集落内を約 1 時間かけ練り廻る

無病息災、五穀豊穡を祈る行事として亀塚集落に古くから絶えることなく続く伝統行事です。始まりは享保四年(一七一九年)。

往時集落には、市川神社、神明社、諏訪神社の三社が祭られていましたが、最も人々の崇敬を集めていた神明社が火事で全焼し諏訪神社に合祀されるという厄難に見舞われました。そこで厄をはらい、無病息災、五穀豊穡を祈るために始められたといわれています。しかし、それ以前から行われていたという説もあり、三百年前とも四百年前ともいわれ定かではありません。

稲わらで作る大きなしめ縄(練馬)を数え十九歳を迎えた集落内の若者が主役で、数え四十二歳の

練馬は、奉納するまで決して地に落としてはならないもので、万が一落としたら担ぎ手は一晚中海につけられ、練馬は再び集落総出で作り直され、数え十八歳の若者がかついで奉納するのだといいます。

以前は、一月二十六日に練馬を作り奉納し、翌二十七日に神主による祭事が行われていましたが、二十年ほど前から毎年一月二十五日以前の日曜日に作り奉納しています。

以前は、一月二十六日に練馬を作り奉納し、翌二十七日に神主による祭事が行われていましたが、二十年ほど前から毎年一月二十五日以前の日曜日に作り奉納しています。

平成七年に町の無形文化財に指定されている伝統文化です。

亀塚練馬

先人の精神を伝え継ぐ

厄年を迎えた男性が補佐役として肩にかつき、集落内を練り廻り最後に諏訪神社の鳥居に奉納します。

食推公開 研修会 ● 調理実習 -おもてなし料理- 12/12 (月)

食推会員さんの家でとれた野菜や卵の提供もあり、地元のものを利用した献立となりました。



食推会員の渡辺典子さん(大夫興野)より「桃の花すし」と「太巻きすし」を紹介してもらいました。

参加者の中には、「かんぴょうを初めて煮ました。」「太巻きすしは、今日が初めてです。」などという方もいて自分で作った巻きすしの出来栄に感激していました。



▼参加者感想

- ・ 違う世代の人と交流できてとてもよかったです。みなさん料理がとても上手で教えてほしいことがたくさんありました。
- ・ 普段集まって調理実習をすることなんてなかったけれど、いろんなことが聞けてとても勉強になりました。

こども園へ 「食のミニ講話」

小さい頃から食に関心を持ち、町の食文化の中で育ててほしいという願いからこども園へ「食のミニ講話」に行っています。「朝ごはんを食べよう!」「清涼飲料水にはこんなに砂糖が含まれている!」などをテーマに食生活を考えました。



食生活推進委員活動に興味のある方、参加を希望される方は事務局までご連絡ください。

* 聖籠町保健福祉課 * (保健福祉センター内) 聖籠町食生活改善推進協議会 事務局

管理栄養士 中川 ☎ : 27 - 6511

楽しく活動しています!

2月広報の栄養講座の報告に引き続き、今回は町の食生活改善推進協議会の活動と公開講座について報告します。

- Q 食生活改善推進協議会とは?
- A 食問題から自分たちの生活を振り返り、食について広く学んでいる組織です。こども園で「食のミニ講話」や研修会など自主的な活動をしています。



「JA ささかみ」は、生産者と消費者が交流して、何を作りどう食べるかを決めてきた歴史があります。営農課長の石塚さんから活動を伺いました。

転作大豆を使用し安全でおいしい豆腐を地元の特産品として首都圏へ出荷、首都圏との交流で地元のよさをPRしています。

▼参加者感想

- ・ 環境に適した(その地域に適した)農業は次の世代の子どもたち、地球環境にまでつながっていると感じました。振り返って自分の今の生活を考えると小さなことでも環境に負担をかけないようにしていかなければと痛感しました。
- ・ 土作りが基本で一番大事だということがよくわかりました。おいしくて安全な食べ物を作ることは果てしないような気がしました。きれいな自然環境である証拠に田んぼで蛭が見られると聞いて、子どもを連れて見に行きたいと思いました。

● 食推公開研修旅行 ● 11/11 (金) JA ささかみ 視察研修



<ゆうきセンター見学>

化学肥料や農薬は一切使用せず、地元の畜産農家から糞尿と耕種農家からの籾殻で良質な肥料を生産している。生態系から作り出される自然の菌がすばらしい肥料になる。



<地元の宿泊施設~ほっほ五頭>

昼食は地元のものを利用した「豆腐づくしの豆腐御膳」

平成17年国勢調査結果(概数)速報

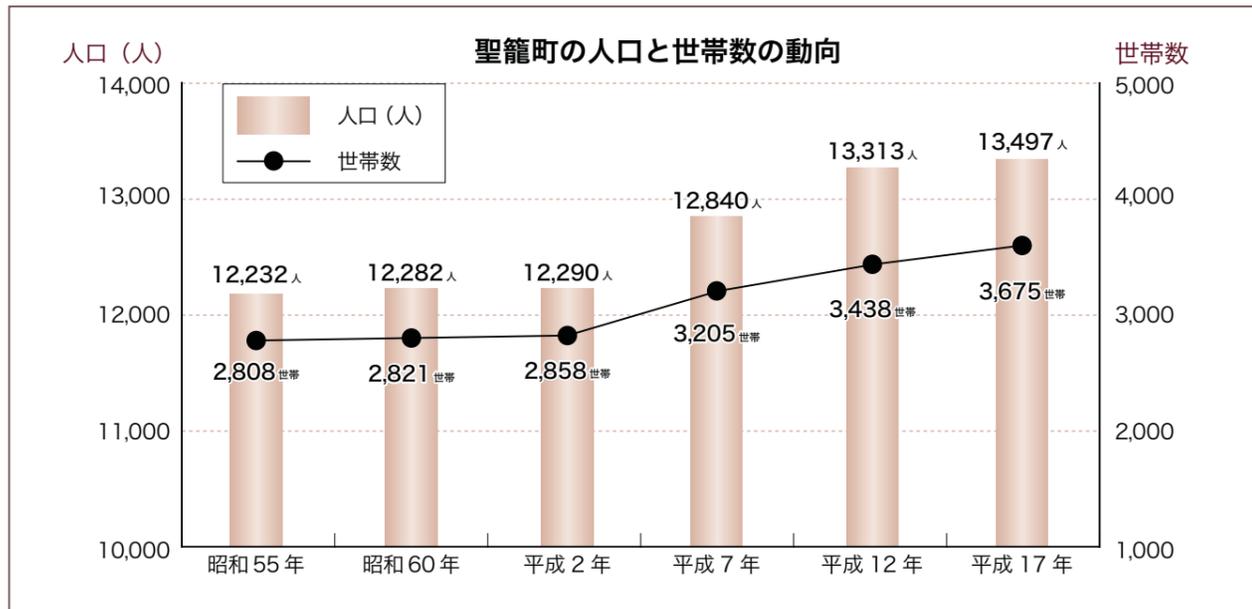
聖籠町の総人口は、**13,497**人 前回(平成12年)比1.4%の増
人口・世帯数の増加率では、共に県内第1位

平成17年10月1日現在で調査を行った国勢調査の結果の一部がまとまりましたのでお知らせいたします。

新潟県の集計速報により人口と世帯数の概数をお知らせします。(総務省統計局の集計が完了していないため、まだ確定数ではありません。)

聖籠町の総人口は、13,497人となり、5年前より184人の増加となりました。世帯数は3,675世帯で237世帯の増加です。人口と世帯数の増加の主な要因としては、JAPANサッカーカレッジの学生等が考えられます。

平成17年国勢調査の人口の増減率は前回調査(平成12年)と比べると1.4%の増、世帯数の増減率は6.9%の増で県内第1位でした。また、1世帯あたりの人数は3.67人で前回調査と比べると0.20人減少しました。



人口が増加した市町村(平成12年調査との比較)

順位	市町村名	増加数(人)	順位	市町村名	増加率(%)
1	新潟市	5,584	1	聖籠町	1.4
2	聖籠町	184	2	新潟市	0.7
3	弥彦村	10	3	弥彦村	0.1



ご協力ありがとうございました。

お問い合わせ：役場企画財政課 ☎ 27-2111 (内線212)

— 聖籠町総合計画審議会が 最終答申を行いました —

町では、行政運営の指針となっている第3次聖籠町総合計画の後期5年間の基本計画(計画期間：平成18年度～平成22年度)を今年度中に策定するため、平成17年6月に総合計画審議会(会長 地濃茂雄氏)に諮問しました。審議会では、前期5年間の基本計画の進捗状況や町民アンケート調査の結果などを踏まえて討議を重ね、平成18年1月31日に町長に対し、最終答申を行いました。最終日にもかかわらず、この日も最後まで活発な意見が出されました。

答申は、基本理念として『緑・ふれあい・夢づくり～町民参加で豊かさの実現～』を前期基本計画から引き続いて掲げ、これを実現するため、前期5年間の社会経済情勢の変化を反映した内容となっています。

町では、この答申を尊重して、さらに検討し、時代の流れに対応した新たなまちづくりの方向を示すために後期基本計画を策定していきます。

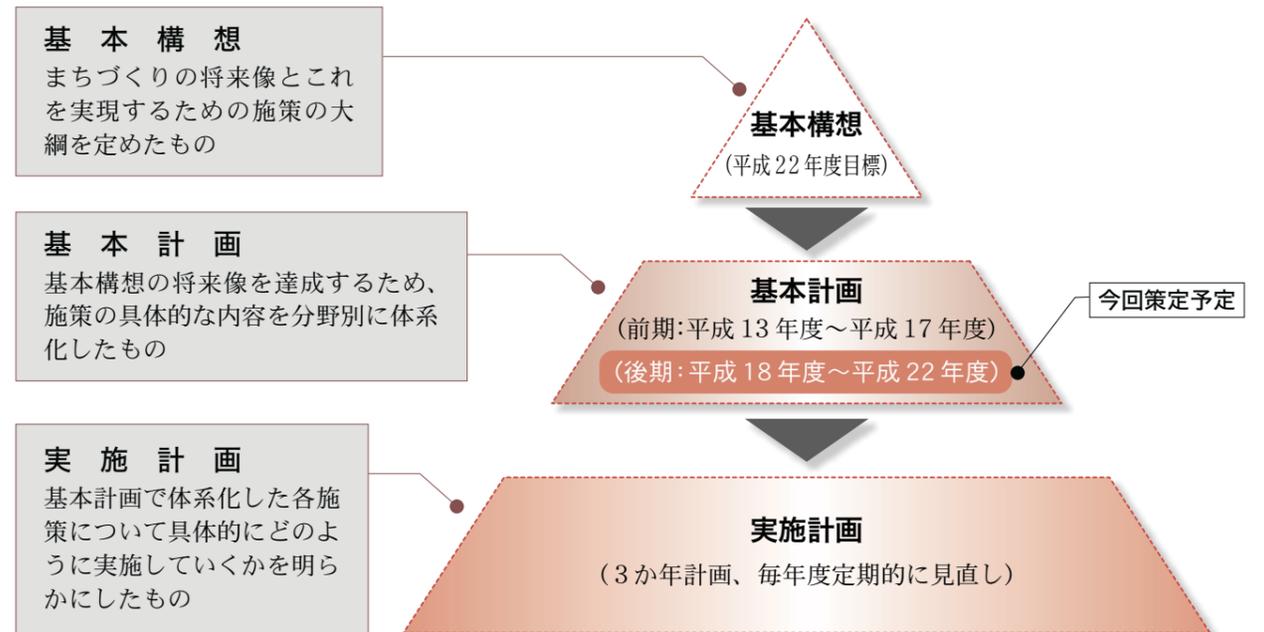


▲ 町長に答申する地濃会長



▲ 審議会の様子

総合計画のモデル



お問い合わせ：役場企画財政課 ☎ 27-2111 (内線212)

②お医者さんにかかる医療費について

更生医療、育成医療、精神通院医療の 医療費が変わります

更生医療、育成医療、精神通院医療ではそれぞれ負担の割合や計算のしかたが違いました。これが一本化され「自立支援医療」となり、指定の医療機関で医療を受けた場合、どの障害の人も医療費の1割を支払います。ただし、所得に応じて上限が決められていて、負担が重くなりすぎないようになっています。

医療費の負担上限額

区分	対象となる世帯 (同じ医療保険に加入している家族を世帯とします)	上限額 (月額)
生活保護	生活保護世帯	0円・自己負担なし
低所得1	住民税非課税世帯で障害者の年収が80万円以下	2,500円
低所得2	住民税非課税世帯で低所得1以外	5,000円
一般	住民税課税世帯	医療保険の 自己負担限度額と同額

所得の低い人以外でも、継続的に相当額の医療費負担が発生する場合には、上限額が決められています。

例えば……

- 統合失調症や躁うつ病・うつ病などの人
- 腎臓機能障害や小腸機能障害などの人
- 医療保険の多数該当者など

対象となる世帯	上限額 (月額)
住民税額 (所得割) が2万円未満	5,000円
住民税額 (所得割) が2万円以上20万円未満	10,000円
住民税額 (所得割) が20万円以上	20,000円

- 支給を受けるには市町村への申請が必要です。
- 18歳未満の人の育成医療については窓口での支払いが急に多くなるように経過措置があります。



入院時の食事代

入院している人の食事代は、日額780円を原則自己負担します。ただし、所得の低い人は減額されます。

指定自立支援医療機関

自立支援医療費の支給は、都道府県が指定した指定自立支援医療機関での医療が対象となります。

お問い合わせ 聖籠町保健福祉課 児童障害福祉係 ☎ 27-6511

4月
から

障害者自立支援法 が施行されます

障害者自立支援法の施行により身体障害・知的障害・精神障害を持つ方々が施設や在宅においてサービスを利用した場合の個人負担や医療機関を利用した場合の個人負担が4月から次のように変わりますのでお知らせします。

①利用するサービス等にかかる費用について

障害福祉サービスを利用したときにかかる費用が変わります

サービスを利用したら、費用の1割を支払います。ただし、所得に応じて上限が決められていて、負担が重くなりすぎないようになっています。残りの9割は市区町村などが負担するしくみです。

サービスにかかる費用

1割	9割		
自己負担	市区町村 25%	都道府県 25%	国 50%

利用者負担の上限額

所得に応じて四つの区分に分けられ、それぞれに負担の上限額が決められています。

区分	対象となる人	上限額 (月額)
生活保護	生活保護世帯の人	0円・自己負担なし
低所得1	住民税非課税世帯で障害者または障害児の保護者の年収が80万円以下の人	15,000円
低所得2	住民税非課税世帯で低所得1に該当しない人	24,600円
一般	住民税課税世帯の人	40,200円

- 同じ世帯に障害福祉サービスを利用する人が複数いる場合などでも、合算した額がこの上限額を超えた分は高額障害福祉サービス費が支給され、負担が重ならないように配慮されています。
- 資産が一定以下の人は、個別の減免制度があります。

施設でサービスを利用したとき

施設でサービスを利用する場合の食費や光熱水費などは全額自己負担です。
※ただし、施設入所者で生活保護、低所得1、低所得2の人は、申請により補足給付が支給され負担が軽減されます。

自転車での事故や
自損事故も対象になりますよ



交通災害共済 加入者のみなさん 見舞金の請求を忘れていませんか？

—交通災害による共済見舞金は、
実治療日数7日以上で請求できます。—

不幸にして交通災害に遭われた場合、交通災害共済加入者(会費年間一人500円)は実治療日数7日以上(の傷害)から見舞金が支給されます。請求・相談は聖籠町役場生活環境課で受付けています。

請求期間は交通災害を受けた日から起算して1年以内です。

1年を経過した場合は請求できませんのでご注意ください。

■対象となる交通災害

対象となる交通機関	対象となる交通事故範囲
自動車、オートバイ、自転車など	道路上で交通に伴う衝突、転落、接触等による人身事故。
汽車、電車、モノレールなど	鉄道路線で交通に起因した事故。(人の死傷が伴うもの)
身体障害者用車いす	道路で交通に伴う衝突、転落、接触等による人身事故。

交通事故に遭ったら警察署に事故の届出をしましょう。

(交通事故証明書がない場合の見舞金額は70,000円が限度です)

※実治療日数とは入院日数と実際に通院治療を受けた日数のことです。

3月はシートベルト着用強調月間 「カチッとベルトパーフェクト運動」が実施されます

■シートベルト着用率(一般道)

平成17年10月調査 ()内は全国平均

運転席	90.1% (92.4%) 全国ワースト9位
助手席	79.9% (80.3%)
後部席	6.1% (8.1%)

■チャイルドシート使用率(一般道)

平成17年5月調査 ()内は全国平均

0～6歳児合計	49.1% (49.1%) 全国24位
<内 訳>	
1歳未満	71.4% (73.6%)
1～4歳	50.5% (48.4%)
5歳	27.8% (30.4%)

平成17年中の新潟県の交通事故は、死傷者数千人当たりの死者数(致死率)が全国平均の5.9人を大きく上回る9.9人と極めて高く、その要因の一つにシートベルト着用率とチャイルドシートの使用率が低いことが挙げられます。

このため、県民にシートベルト及びチャイルドシート着用の必要性を訴えるとともに、正しい使用を徹底し、交通事故抑止を図ることを目的に運動が実施されます。

新潟県の平成17年中交通事故による死者187人中、自動車乗車中の死者は73人。うち、シートベルトを着用していた人は、わずか23人(着用率31.5%、全国ワースト3位)でした。

シートベルトを着用していれば、そのうちの半数以上の方は命を失わずにすんだと思われます。後部座席も含めて全座席でシートベルトを着用しましょう。

チャイルドシートの使用率も低調でした。チャイルドシートを使用していないと使用していた場合に比べて致死率は約4.1倍になります。



町の交通事故発生状況

区分	1月		
	発生件数	死者数	傷者数
平成18年	10	0	11
平成17年	7	0	9
増減	+3	0	+2

交通安全に関することは
役場生活環境課

☎27-1962 (直通)

町の動向

このコーナーでは、役場各課の主な業務、各種委員会の活動などを町民の皆さんにお知らせします。
掲載内容についての、ご意見・ご質問などがありましたら、担当課又は総務課広報担当まで電話か町政ポストのハガキでお願いします。

産業観光課

☑1月25日(水)

●聖籠町水田農業確立推進協議会総会開催

- 生産調整関係の次の議題について協議し、平成18年度の方針等を決定しました。
- 平成18年度生産目標数量の配分方針について
- 平成18年度水田農業構造改革交付金等の交付(助成)体系について
- 今後の推進について

町民課

☑1月31日(火)

●平成17年度第4回聖籠町介護保険運営協議会開催

平成18年4月から施行され



▲介護保険運営協議会のようす

る第3期介護保険事業計画の策定、次期介護保険料設定の考え方について前回に引き続き慎重に審議されました。
平成18年4月からの次期介護保険事業が適切に運営されるように今後も審議してまいります。

税務課

☑1月19日(木)

●固定資産評価審査委員会開催

町では、今年4月から3年間に1回の固定資産(土地、建物)の評価替えを実施しますが、これにあたり評価審査委員会では、現状と今後の動向を協議しました。
なお、先回の評価替え(平成15年度)では、2納税義務者から「価格に対する不服申し立て」がありました。審査の結果2者案件とも棄却されております。



ふるさと整備課

●3月から公園施設の使用を再開します。

冬季間、町内のいくつかの公園内トイレ施設を水道管の凍結防止対策として閉鎖していましたが、3月から再び使用できるようになります。今冬は暖冬予想

学校教育課

☑1月18日(水)

●第1回聖籠町教育委員会臨時会開催

登下校時の安全確保等のための対策について審議されました。



2月には公園のバトロールを行い、雪による施設や樹木などへの被害等を確認しました。3月からは安全で快適な公園として町民に使用いただけるよう管理に努めます。

農業委員会

☑1月30日(月)

●聖籠町農業委員会第19期第23回総会

- 農地法第3条の規定による譲受人の資格審査について
- 農用地利用集積計画による所有権移転申出審査について
- 農用地利用集積計画による利用権設定申出審査について
- 農業委員会委員選挙人名簿登載申請者の資格審査の承認について
- 平成18年度聖籠町農作業別標準賃金について
- 農業委員会事務専決報告について

以上の6項目について審議されました。



1月の届出

げんきなよい子

出生

赤ちゃん	保護者	行政区
る なちゃん (渡辺 良二)	網代浜	網代浜
くう たちゃん (小林 正規)	藤 寄	藤 寄
あや 彩花ちゃん (三浦 寛徳)	亀 塚	亀 塚
はる 春翔ちゃん (宮沢 真)	網代浜	網代浜
ま真 海ちゃん (宮下 寿史)	次第浜	次第浜
る 月渚ちゃん (宮沢 勇介)	蓮 野	蓮 野
こ心 ちゃん (高橋 健)	東 山	東 山
まさ 雅樹ちゃん (霜鳥 政直)	東 山	東 山
ひろ 大夢ちゃん (高崎 康也)	亀 塚	亀 塚

幸多い人生を

婚姻

新郎・新婦	行政区
梅 津 京三さん (小林) めい 恵さん	本諏訪山

ごめいふくお祈りします

死亡

氏名	年齢	行政区
肥田野 ス エさん	(92歳)	真 野
皆 川 しちさぶろう 七三郎さん	(93歳)	亀 塚
松 田 すみ 澄子さん	(68歳)	亀 塚
二 宮 よし 義一さん	(89歳)	蓮 野
小 野 まさ 雅夫さん	(89歳)	蓮 湯

(注1) 届出の際にご承諾の押印をいただいた方のみ掲載しております。
(注2) 略した文字で掲載している場合があります。戸籍の氏名と異なる場合があります。ご了承ください。

聖籠中学校 オープンスクール

●とき 3月19日(日)
●ところ 聖籠中学校

聖籠中学校での1年間の教育活動の成果と課題を保護者や地域の方々にご報告し、これからの教育活動のあり方を共に考えます。

□授業参観
□8時20分〜9時45分
ホームベース朝会や選択「みらい」の授業を自由にご覧いただけます。

□聖籠中学校の未来を語る会
「地域がつくる学校」を加速



▲全体会(昨年)

する(旧学校株主總會)
□10時00分〜12時30分
全体会と分科会での意見交換を行います。
聖籠中学校
☎27-7080

「特殊学級」等が「特別支援学級」等に変更されます

現在、国では障害の種類や程度に応じて特別の場で指導を行う「特殊教育」から、通常の学級に在籍する学習障害(LD)、注意欠陥・多動性障害(ADHD)、高機能自閉症等の児童も含め、障害のある児童生徒に対してその一人ひとりの教育的ニーズを把握し適切な教育的支援を行う「特別支援教育」への転換を図る取組みを推進し、平成19年度を目途に小・中学校において総合的な支援体制を整備することを目指しています。併せて盲・聾・養護学校の「特別支援学級」への転換について制度改正を行い平成19年度からの本格実施を目指しています。

そこで、新潟県教育委員会では国の特別支援教育が本格実施されるまでの間、平成18年4月1日から「特殊学級」を「特別支援学級」と、「特殊教育諸学校」を「特別支援学校」と呼ぶことになりましたのでお知らせします。

教育委員会学校教育課
☎27-2111
(内線302)

入札結果

H18.1.23

工事(件)名	契約額(円)	業者名	納入完了日又は工事(委託)期間最終日
1 舗第4号 山大夫6号線道路舗装工事	3,885,000	東亜道路工業株	平成18年 3月21日

「ガリレオ」振動トレーニングマシン 第2回体験者募集 乗るだけでウォーキング

♪ガリレオってな〜に♪

ガリレオってネ・・・
ドイツから来た振動する機械で ボードが振動するんだよ。
その振動で筋肉をほぐし血行をよくし柔軟性がつくの、そしてネ1HZ×1秒=1歩だから、20HZで振動板に2分間乗るだけで、2,400歩のウォーキングに匹敵し、足腰の筋肉トレーニングができるんだ。



▲「ガリレオ」振動トレーニングマシン

町では、このガリレオの体験者を次のとおり募集しています。

- 対象 65歳以上の方
- 会場 聖籠町保健福祉センター
- 期間 3月31日(金)〜7月7日(金)
- 回数 週2回 3か月間
- 申込締切 3月17日(金)
- 申込先 保健福祉課 片桐
- ☎27-6511



紹介してくださった「せいろクリニック」整形外科 山本先生

●先生からのメッセージ
寝たきり予防のためにみんなで筋力アップ

ガリレオ体験者の声

- ・初めてガリレオを試みた時は、ふくらはぎと腰が痛かったが、乗り終わってみると足、腰、身体全体が軽くなり気持ち良かった。
- ・ガリレオをした日は、ご飯がととても美味しい。
- ・交通事故のため、左半身の動きが鈍かったが、ガリレオをしだしてからは、少し動きが良くなった。
- ・左の臀部にシビレを感じていたが、そのシビレが止まった。
- ・今はどこも悪い所はないが、ガリレオをしてから、座って立ち上がる時に軽快に立ち上がることができる。
- ・杖をついて歩いていたが、杖がなくても歩くことができるようになった。
- ・毎年冬になると医者(整形外科)通いをしていたが、今年は行かずにすんだ。

日	内容
29日	・広域関係協議会定例会
28日	・新潟国際貿易ターミナル株主總會
27日	・社会福祉協議会理事會、評議員會
25日	・胎内市合併記念式典
24日	・蓮湯老人クラブ總會
23日	・小學校卒業式
17日	・敬和学園大學卒業式
14日	・こども園修了式
13日	・新潟県共同募金會理事會
11日	・敬和学園大學卒業式
7日	・敬和学園大學卒業式
2日	・敬和学園大學卒業式
1日	・聖山大學修了式
3月	・3月議會議定例會

(主なもの抜粋) 町長の動向

INFORMATION

おしらせ

お問い合わせ先

町役場	☎27-2111
町民会館	☎27-2121
図書館	☎27-6166
保健福祉課(保健福祉センター内)	☎27-6511
診療所	☎27-1234

INFORMATION

3月の行事

- ### 《保健福祉事業》
- ところ 保健福祉センター
- ◆心配ごと相談 15日(水)
 - ◆弁護士相談(要予約) 23日(木)
 - ☎町社会福祉協議会 ☎27-6767
 - ◆行政相談 14日(火)
 - ◆乳幼児健康診査・各種学級
 - 育児学級 7日(火)午後1時15分〜
 - 妊婦学級(後期) 14日(火)午前9時30分〜
 - 2歳児親子歯科健診 20日(月)午後1時15分〜
 - 3歳児健診 23日(木)午後1時15分〜
 - 乳児健診 24日(金)午後1時15分〜
 - ◆各種予防接種 (受付は1時10分からです) 3月実施予定はありません

税務課からのお知らせ

役場税務課
☎ 27 - 1956 (直通)

確認してください あなたの固定資産

町では、平成18年度の固定資産(土地・家屋・償却資産)に課税する準備をしています。

固定資産税は、町が決定した課税標準額に100分の1.4を乗じたものが税額となります。このため、納税通知書を送付する前に納税者の皆様に下記により、固定資産の価格を縦覧しますのでご確認ください。

また、4月上旬には各納税者宛に土地・建物の課税対象物件を記載した「課税明細書」を郵送しますので併せてご覧ください。

■期間

平成18年4月3日から5月31日まで
(役場の開庁日時)

■場所 聖籠町役場税務課

※この価格に不服がある場合は、納税通知書を受け取った日後60日までに聖籠町固定資産評価審査委員会に対し文書で審査の申し出ができます。

※縦覧および不服申し出は、地方税法第416条、432条によります。

町税は納入期限までに完納してください

平成17年度の町税の納入期限は終了しましたが、本年1月末日での滞納額は約1億1千9百万円となっています。

住民自治の根幹は安定的な税財源の確保が重要です。

本町が今後とも明るく、住みやすい環境を維持するためにも、税金は納入期限内に完納してください。

なお、納税は納め忘れもなく安心な「口座振替」をご利用ください。

口座振替のお申し込み手続きは、町指定・収納代理金融機関および郵便局窓口でお願いします。(一部金融機関では取り扱いできない場合もあります)

税務署からのお知らせ

— 所得税、消費税は口座振替で —

平成17年分の確定申告にかかる振替日は、
所得税…………… 4月20日(木)
※現金納付は 3月15日(水)
消費税…………… 4月27日(木)
※現金納付は 3月31日(金)
となっておりますのでお知らせします。

☒ 新発田税務署 ☎ 23-3104

所得税確定申告、住民税申告はお済みでしょうか

本年の申告期限は3月15日(水)までとなっております。まだ申告していない方は期限までに必ず申告してください。

なお、町役場で申告される方は、広報せいろう2月号をご覧ください。



●児童クラブに入会を希望する児童は、次の要件を全て備えていることが必要です。
(1) 蓮野・山倉・亀代小学校区に住所を有している児童
(2) 原則として小学校1年生から3年生までの児童
(3) 就労等により、放課後帰宅しても児童の面倒を見られない

☆児童クラブ入会上の留意事項

児童クラブは、放課後において家に帰っても就労等により保護者並びに70歳未満の祖父母等が家にいないため家庭で保育が出来ない(以下、「保育に欠ける」という。)小学校低学年の児童を預かる施設です。入会基準を満たす希望者については、次によりご案内いたします。

聖籠町児童クラブ 入会のご案内

●開設日時及び閉設日
(1) 学校の平常授業日 放課後、原則午後6時
(2) 土曜日、学校の臨時休校、長期休業日(春、夏、冬休み) 午前7時30分、原則午後6時

●入会先児童クラブ
(1) 児童クラブは3小学校内にあります。原則として通学して小学生内の児童クラブとなります。

●費用について
(1) 通常入会 1か月5千円。2人以上が同時に入会する場合は、2子目以降は半額となります。ただし、災害を受けた場合や非課税世帯等については減免制度もありますので、詳細についてはお問い合わせください。

●入会手続き
児童クラブは、通常入会(1か月15日以上利用の場合)と緊急一時入会(1か月14日以内利用の場合)がありますので、利用形態により各入会申請書(町保健福祉課及び各児童クラブに用意)に必要事項を記入のうえ、町保健福祉課又は入会先児童クラブに提出してください。

(3) 日曜、祝日、お盆休み(8月13日から15日)、年末年始(12月29日から1月3日)は閉設させていただきます。

●その他
(1) 入会を許可する児童については、後日入会許可通知書を保護者宛に送付いたしますので、通知書記載の入会許可日から入会となります。
(2) 通常入会者で、入会後都合等により児童を退会させる場合には、お手数をお掛けいたしますが退会届(保健福祉課または各児童クラブに用意)を提出していただきます。

●お問い合わせ先
○月曜日から金曜日 午前8時30分～午後5時15分
・保健福祉課児童クラブ担当 (保健福祉センター内)
☎ 27-6511

○土曜日 午後1時～午後6時
○月曜日から金曜日 午前7時30分～午後6時まで
・蓮野児童クラブ ☎ 090-80035
・山倉児童クラブ ☎ 090-7262
・亀代児童クラブ ☎ 090-80031

(2) 緊急一時入会 1日利用250円、午前のみ利用 100円、午後のみ利用 150円



下越総合健康開発センター

◆ 体操教室 受講者募集 ◆

(財)下越総合健康開発センターでは、次のとおり平成18年度受講者を募集しています。

① 1年コース (18年4月～19年3月)

教室名	曜日	対象	募集数	スポーツ保険料
シニア	月	概ね65歳以上74歳以下	若干名	800円
ダイエット	火	体重、体脂肪を管理したい方、肥満の方	10名	1,500円
シェイプアップ	水	体力があり充分動きたい方	10名	
フレッシュ	木	これから運動したい初心者	5名	
フィットネス	金	軽い運動をしたい方	5名	

※募集数は上記のとおりですが、各教室50名程度の定員となっています。

② 午後コース (平成18年4月～19年3月)

教室名	曜日	対象	受講料	募集数	スポーツ保険料
スタートストレッチ	不定期	成人男女(初心者)(70歳以下の方)	42回 5,250円	20人	1,500円

① 1年コース

【活動時間】 各教室とも9時30分～11時30分
【受講料】 年額7,350円(消費税込み)
【対象】 75歳以下の方
【その他】 ダイエット教室受講者に限り、別に健康診断料2,500円(消費税込み)が必要です。

② 午後コース

◎これから運動を始めたい方、ストレッチから初めてみましょう!
◎各月3回程度 3か月予定

【日 程】 4月21・27日 5月9・19・23・31日 6月2・8・20・28日 (以降は申し込み時に連絡)

【活動時間】 午後1時30分～3時00分
【申込方法】 スポーツ傷害保険料と印鑑をご持参のうえ、3月7日(火)～3月11日(土)までに健康開発センターへ申し込みください。(定員になり次第締切)

【受付時間】 午後2時～午後5時(11日は午前11時30分まで)
☒ 健康開発センター「健康増進指導課」 ☎ 24-1145



りくくん
(七か月)



高橋 由紀子さん
(ひばりが丘)

高橋さんは、今年こども園に入園するお兄ちゃんと稜くん、二人の男の子のお母さんです。「二人目の育児は気が楽です」二人目以降のお子さんについては皆さんこうおっしゃいます。高橋さんもやはりそう感じているそうです。

稜くんはまだ歯が生え揃いませんが、離乳食が大好きです。もたくさん食べてくれるそうです。特に果物が好きで、バナナや洋ナシなど舌触りのいいものがお好みだそうです。夜は母乳を飲んでいて、夜は

ママさんにお聞きしました！

1月の乳児健診会場にて

町の宝で〜す

1月の乳児健診から



深井 ころちゃん



五十嵐 悠翔ちゃん



夏川 力也ちゃん



鈴木 凜々羽ちゃん



和田 愛莉ちゃん



廣川 そらちゃん



藤間 夢叶ちゃん



伊藤 にこちゃん



治田 迅ちゃん



加来 雄也ちゃん



宮下 真斐朗ちゃん



久住 匡吾ちゃん

元気に育てね！

この写真は保健福祉センターで行われている乳児健診会場での4か月健診対象乳児を撮影しています。



▲グアムキャンプ

新潟に戻ってきたアルビレックスのホーム開幕戦は、3月11日(土)15時から新潟スタジアム・ビッグスワンで開催されます。皆さまぜひ、スタジアムで熱い声援を送ってください。

山口県出身で、多々良学園高校時代から将来を嘱望され、年代別の日本代表に名を連ねてきましたが、プロ入り後はケガに泣かされ、3年間の選手生活のうち、まともにプレーできたのは半年程度という不運に見舞われました。

アルビレックス新潟に今季新加入した注目の選手、ペガルータ仙台から加入したFWの中原貴之選手は、優れた身体能力とテクニクをあわせ持つ万能型の点取り屋です。高さのあるジャンプを生かしたヘディングシュート、スピードで相手ディフェンダーを振り切ったシュート、巧みなボールさばきで逆を突いてドリブルで抜け出すなど、ゴール前で様々なプレーを見せてくれます。



▲グアムキャンプ

往復はがきでお申し込みいただいた形で、聖籠町にお住まいの方であれば、どなたでもご応募いただけます。

詳しいお問い合わせは、025-282-0022、アルビレックス新潟後援会まで。お申し込み締め切りは3月22日となっております。皆さまふるってお申し込みください。



アルビレックス新潟情報!!

新潟に戻ってきます

春の訪れとともに、しばらく新潟を離れていたアルビレックス新潟のトップチームが新潟聖籠スポーツセンター「アルビレッジ」に戻ってきます。

1月末から2月下旬まで、グアムでキャンプを張り一年間を戦う体作りを行った後は、静岡市にあるJ-STADIUMへ移動し、Jリーグの開幕直前まで細部の調整やチームの総仕上げに取りかかっています。そのまま開幕戦を川崎で迎え、今月5日に新潟に戻る予定になっていきます。グアム・静岡と暖かく、日差しの強い中でのトレーニングを積んだことで選手たちは皆、真っ黒に日焼けしてたくましさを増しています。鈴木監督のもと、新たな新潟のサッカーは着実にチームに浸透してきています。

注目の選手

FW 中原貴之選手



しかし、その潜在能力の高さはだれもが認めるところで、昨年山形の監督を務め、J2リーグで戦った鈴木監督もその実力を十分に認めています。本人も今季の大きな目標として、「まずはケガをしないこと」を掲げています。無事な体で練習に取り組むことができれば、間違いなく新潟のために貢献してくれることでしょう。

Jリーグ 公式戦へご招待

ついに開幕となる2006年のJリーグ。7位以上、上位進出を目標に掲げるアルビレックス新潟。攻守に積極的で魅力的なサッカーを展開する、新生・新潟のホームゲームに聖籠町在住の皆さまより500名様をご招待させていただきます。

対戦カードは4月2日(日)に行われるサンフレッチェ広島戦、試合会場はもちろん新潟スタジアム・ビッグスワンです。

昨年はホーム・アウェイともに連敗を喫し、悔しい思いを味わわれました。今年はその雪辱を晴らすべく、選手たちも大いに燃えて戦ってくださることを祈ります。

一時間おき位に目を覚ますそうです。ママにとってはハードな毎日です。それでも聖籠こども園の「すくすくサロンさくらんぼ」へ積極的に通い、日中は稜くん、お兄ちゃんとの親子遊びの時間を大切にいらつしやいます。

唯一、稜くんのご心配なのが、「母乳を上げていたためなかなか離れられないこと」だそうです。買い物一つ出かけるにも一時間くらいが限度だそう。稜くんがもう少し大きくなるまで、ママの奮闘が続きます。

お子さん二人を連れ健診に参加され、お忙しいなか快くお話を聞かせてくださいました。本当に有難うございました。



はすがた園新年会

蓮湯神楽が披露されました

一月十五日(日)、特別養護老人ホーム聖豊はすがた園において園内の新年会が開催されました。

新年会では、職員のみなさんの手作りによる神社の鳥居が設けられ入所者を代表して何人かの方々が、「一年間元気で無事過ごせますように」と初詣を行いました。

その後、地元蓮湯神楽保存会の皆さんから神楽の歴史が説明された後、太鼓の音にあわせて勇壮な神楽が披露されました。はすがた園の新年会では、二回目となる神楽ですが入所者の皆さんは、迫力ある勇壮な神楽の舞に魅了されていました。

舞の後、神楽にかなでらいい厄を祓った入所者の皆さんは、初詣の願いのとおり一年間元気で過ごされることでしょう。

亀代
こども園

つきたてのお餅って美味しいね♪
— みんなでついたよ 餅つき大会 —



亀代こども園では一月十三日（金）、お正月お楽しみ会が開かれました。メインはお餅つきです。会場には大きな臼が二つ置かれ、五歳児のお家の方にお手伝いをお願いし、大勢集まったにぎやかな雰囲気はお正月ムード満点です。

蒸された真っ白な餅米を臼に入れ、お家の方や先生方が杵を持ち園児たちの前でベツタンベツタンとつき始めました。一つつくたびに園児たちから歓声があがり、お餅の香りが漂います。豆絞りでねじり鉢巻姿の5歳児たちは、杵を持ち順番にお餅をつきます。「初めてだよ」「お餅おいしそうだよ。」とみんな楽しそうです。

今日のメニューはお醤油餅と、きな粉餅。「みんなできつたお餅だからとつてもおいし

最後に先生方から「龍神の舞」が披露されました。迫力のある龍を始め衣装から小道具まで全て手づくりです。大きな龍が空を飛ぶように動く姿は大迫力。この舞を見ると今年一年健康で過ごせるとのこと。貴重な体験と元気をもらった楽しいお楽しみ会でした。

「杵でついたお餅を食べるのは初めて。柔らかくておいしい！」と園児たちには大好評。おかわり続出でアツという間に売り切れました。

お餅は四角形でパックに入っているものばかりと思っている園児たちが多い昨今、昔ながらのお正月の行事を楽しめる場をつくることは、子どもたちにとって何よりの思い出になることでしょう。



蓮野
こども園

今年も一年無事過ごせますように…
— だんご木を送りました —



一月十八日（水）、蓮野こども園では毎年冬の恒例行事「だんご木送り」が行われました。これは「一年間健康で事故やけがないよう過ごせますように」との願いを込めて、ミズの木に白玉だんごを飾るものです。

毎年、年中組が作るようになっており、食紅できれいに色づけをして作ります。十二日に飾り付けした大きなミズの木を、一校ずつ切り分け、年中組一人ひとりが手に持ち、まだ雪の多く残る園庭中央に積み重ねて置き、準備が整うと、早速火がつけられました。「みんな、今年一年元気で過ごせますようにと一生懸命お祈りしてね」先生に声をかけられ、冬晴れの空の下、



その後、先生方が縁起物のすめを火であぶり、全員に振舞われました。しつかり噛んでよく味わって食べた園児たち、なかにはおいしくて、おかわりする子もいましたよ。

今年一年、園児たちが健康で事故なく無事過ごせることを願っています。



聖籠
こども園

乳幼児の歯の大切さ
— 渡辺歯科医師の講演会 —



一月二十五日（水）、聖籠こども園すくすくサロンさくらんぼでは、渡辺歯科医院の先生にお願いして「乳幼児の歯の大切さ」のお話をいただきました。

子育ての経験のある女医さんということで、7人のお母さん方はリラックス、そして真剣に話を聞いていました。

子どもは『健やか』に育ってほしいもの。健やかとは体の健康と心のケア。心のケアとは、特に母親との関係で穏やかに接すればバランスのとれた心に育つということなのです。

そして、体の健康。歯の成長に合わせて離乳食が進んでいきます。虫歯にならないよう、歯茎がむずむずするその頃から歯ブラシを持たせれば、スムーズに歯磨きの習慣がつくのではとおっしゃいます。



仕上げ磨きを嫌がるお子さんでも、決して諦めることなく、少しずつでも続けることが子どものため。一番先生が伝えたいことは、「親が食べたものをあげないで」ということです。大人の口の中に子どもにはない菌があり、子どもの歯に影響を与えてしまうそうです。

質問タイムには「指しゃぶり、おしゃぶりがやめられない。」「食べ物詰り込んで嘔み碎かない。」「歯ぎしりをする。」という質問にも「何事も無理にやめさせず、その行動は子どもにとって安心を与えていて大切な場合もある。時期を考えてゆっくりやめさせていけばいいのでは。」と母親の立場からの優しい回答にお母さん方はほっとした表情を見せており大変有意義な講演会となりました。

蓮湯
こども園

園児たちに元気とパワーを！
— 獅子舞披露 —



皆さんは獅子舞をご存知ですか？少し前までは、「家内安全や「無病息災」を願い、家人の頭をバクツと食べる仕草で厄払いをしながら家々を回ったものです。お正月の代表的な行事のひとつでしたが、今はもう見かけることが少なくなったようので残念です。

蓮湯こども園では冬休みが終わった一月十日（火）、先生方が園児たちに獅子舞を披露しました。年末年始と大きな事故や怪我もなく、無事に登園してきた園児たちにこの寒い冬を乗り切る元気とパワーを与えたいと考え計画したものです。獅子頭から衣装・小道具まで全て手づくりという力作。冬休み中も動きの練習を重ね、本番を迎えました。



お遊戯室に集まった園児たちの目の前でステージの幕が静かに開くと二匹の大きな獅子が登場を現しました。やがて音楽に合わせて独特な動きを見せ始めると獅子舞を見たことのない園児たちのなかには、目を見開きじっと見つめる子、口をあぐりりと開けたままの子、思わず後ずさりする子などさまざまな表情が見られました。そんな園児たちの間をゆつくりと進みながら、大胆な動きと口をバクバクと開ける獅子頭の迫力は、まさに先生方の努力の賜物といえるでしょう。

今年は記録的な大雪と厳しい寒さが続く冬となりました。この獅子舞から元気をもらった園児たちは、内に外にと冬の遊びを思う存分楽しめそうです。

亀代
小学校

～ 新年を迎え みんなで一緒に ～
— 書初め大会 —

当日は青空が見えるほどの良いお天気でしたが、その分、館内はとても冷え込みました。児童が集まり準備を始めると館内は墨のにおいに包まれ、身が引き締まります。先生からは「背筋を伸ばしてしっかりと書くこと。」とお話があり、児童たちは約一時間筆を持ち集中した時間を過ごしました。



三学期が始まったばかりの一月十二日(木)、亀代小学校では書初め大会が行われました。一風変わっているのは会場です。硬筆書初めの一、二年生は教室ですが、毛筆書初めの三年生から六年生約二百三十名は、広い体育館に集まり一斉に書き始めます。毎年恒例の年中行事となりました。



青木佑弥さんは「まの字のくると回すところが難しかったです。でも冬休みに書いたものよりも上手くできて良かった。」と笑顔で話してくれました。また冬休みの間に百二十枚も練習を重ねたという四年生深井伊子さんは「休みに書いた方が良く書けています。」と話ながらも更に「初売り」の練習を続けていました。姿勢や筆の持ち方、運び方もしっかりとおり、冬休みの成果が発揮されているようです。

普段接することの少ない習字ですから、みんなで書初め大会という時間と会場を共有できたことは貴重な経験です。児童のみなさん清書の出来はいかがでしたか？

山倉
小学校

熱気あふれる響の演奏
— 和太鼓演奏鑑賞会 —

一月十九日(木)、山倉小学校では聖籠町の響(さとおと)の方々による和太鼓演奏鑑賞会が開かれました。最初に教頭先生からのお話で、なぜランチルームにカーテンがしてあるのかという話がありました。太鼓の音で窓が振動するからということでしたが、この日メンバーは八名での演奏でしたが窓どころかカーテンレールまでが振動し、机の上にあった笛が落ちてしまうほどの迫力ある太鼓の音に、児童は思わず「すごい！」と興奮気味。



大太鼓、小太鼓、かつぎ太鼓と次々と演奏をしていた、だきました。低学年は音にあわせて自然と体が動いていき、高学年は体を乗り出して真剣な眼差し。そして、響の方々は篠笛(しのぶえ)も披露してくださいました。力強い太鼓の音に、やさしい音色の篠笛はとても調和がとれていました。



最後に、多数の希望者の中から二十数名が実際に太鼓をたたき体験をさせていただきました。体験した児童は「速くたたくこととしても、思うように手が動かなくて腕も痛くなった。」「たいたい音がよかったです。思いつきりたいたいの破れなかった」と息をはずませながら話してくれました。会場の熱気は大いに盛り上がり、演奏会の終わる頃には、ランチルームの窓が曇ってしまうほどでした。

途中、バチ(太鼓をたたく棒)で楽しいパフォーマンスをみせてもらったり、準備運動と称し、「背中を伸ばして、両手を挙げて！」「フォー！」といま流行の笑いを取り込んでいたり終始盛りあがっていました。

老人クラブ
連 合 会

皆で支えあい 楽しい老後を
— 改正介護保険説明会開催 —



平成十八年四月一日から介護保険制度が改正になります。それに先立ち、老人クラブ連合会では一人でも多くの人に正しい知識を持ってもらい、更に今後自分たちは何ができるのかを考

えるため、一月二十六日(木)「改正介護保険説明会」を保健センターにて開催しました。当日は、予想を上回る百三十人以上が参加。その関心の深さが伺われます。講師は社会福祉協議会の荒井さんにお話し、介護保険の仕組みや改正のポイントなど、資料をもとにわかりやすく説明されるなか、皆さん静かに耳を傾けペンを片手に熱心にメモを取る姿が見られました。

参加者からは「他人事だと思っていたが、そうも言っていない現実を知りとても勉強になった。」また「保険と聞く



「継続は力なり」楽しんで参加し仲間作りが出来る場を提供していく今後の活動がますます楽しみです。

と分かりにくく難しいイメージしかなかったが、今回は分かりやすく説明してくれたので、とてもためになりました。」という声がかれました。日本の人口は四十年後、三人に一人は六十五歳以上になると予想されています。聖籠町も例外ではありません。今後、誰しも介護の不安や高齢者対策は避けることのできない問題です。老人クラブ連合会では、体と気持ちを前向きにする姿勢が新しい介護保険を成功に導く鍵になると考えています。元気でいようと思う気持ちが自立心につながり、介護給付を抑えやがて町の役に立つというこの流れが大切です。

「最後はビンゴゲーム。正方形二十五マスの真ん中はフリーにして、数字を一から十二まで二つずつ入れます。」「ONE」「FIVE」と声がかかるたび数字を二つずつ塗りつぶしていき、早くビンゴした人が勝ちです。二つずつ塗りつぶすので、運良くすぐにビンゴする子が一度に五、六人も出ました。

蓮野
小学校

遊び感覚で楽しく英語を勉強！
— 国際理解教育 —



一月二十四日(火)、敬和学園大学のエイミー先生にお越しいただき、三年生を対象に「国際理解教育」として英語の授業が行われました。エイミー先生はイギリス出身、新発田市在住です。授業は英語のみで行われ、日本語は使いません。まずはウォーミングアップ。「STAND UP」「SIT DOWN」など先生が指示したとおりの動作を素早くやってみます。だんだんテンポが速くなっていき聞き取って、上手に動きます。

次は鉛筆、消しゴム、ノート、ペンを使った「文房具カルタ」「PENCIL!」「NOTE BOOK!」先生から声がかか



るたび、これも素早く手が出る子どもたちでした。最後はビンゴゲーム。正方形二十五マスの真ん中はフリーにして、数字を一から十二まで二つずつ入れます。」「ONE」「FIVE」と声がかかるたび数字を二つずつ塗りつぶしていき、早くビンゴした人が勝ちです。二つずつ塗りつぶすので、運良くすぐにビンゴする子が一度に五、六人も出ました。

最後にエイミー先生に授業の感想をお聞きすると、「FANTASTIC!」と満面の笑顔で答えてくださいました。子どもたちも楽しみながら英語の勉強ができたようすで、瞳はきらきらと輝いていました。

亀代小学校児童の絵がNHK 児童画廊で放送

● 昨年の11月21日(月)から11月26日(土)まで、NHK 児童画廊で放送された亀代小学校児童の12作品をご紹介します。

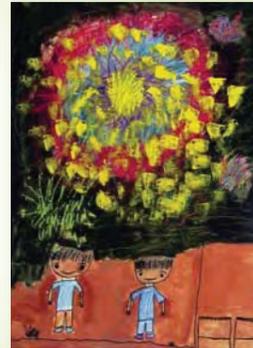
● これらの作品は、児童が自分の思いや願いを描き方や色の塗り方を工夫して、絵やポスターに表しました。どの作品からも、それぞれの思いと願いが伝わってくる素晴らしい作品です。



高橋 だい 大さん 2年



平野 まりあさん 1年



今井 もとき 基貴さん 1年



渡辺 ゆい 優依さん 3年



平野 ゆうすけ 雄介さん 3年



澤田 ちはる 千春さん 2年



細貝 たいけん 太健さん 5年



深井 いまこ 伊子さん 4年



渡辺 いっき 一輝さん 4年



須貝 ゆうき 友貴さん 6年



野田 こうすけ 航祐さん 6年



真保 まりあさん 5年



ブルーベリーさん 10歳



ガッシュ・ベルさん 8歳



高橋 達也さん 7歳
絢音さん 3歳



小林 理さん 5歳



投稿するときは濃い鉛筆かペンで書いてください。(薄いものは掲載できません) 名前は必ず書いてください。(ペンネーム希望の場合は名前の横にペンネーム『○○』と書いてください)



ま♡マさん 10歳



SEVEN☆STARさん 17歳



スヌーピーさん 12歳



2月大すき!!さん 11歳



わたなべ まゆさん 8歳

* * * 広報への掲載記事大募集! * * *

広報せいらうへの掲載記事を次のとおり募集します。みなさんの応募をお待ちしています。

- ①趣味の紹介や地域の話題など
手芸、写真、園芸などの趣味や地域の祭り、行事、ペット自慢、ほのぼのとした出来事などで広報に紹介したい話題がありましたらご連絡ください。
- ②広報へのご意見
「この記事が良かった」「ここが悪かった」「こんな記事を書かせてもらいたい」などなんでも結構です。
- ③聖籠の風
町の業務や行事、あるいは地域や学校でのことなど、日々の生活の中で感じたことなどをお寄せください。(良かったこと、又良くなかったこと) 子供たちの意見も大歓迎です。600字以内でお書きください。
- ④イラスト自慢大募集
絵を描くのが大好きな子供たち、自慢のイラストをハガキの裏に書いてどんどん送ってください。(黒一色でハッキリと書いてください)
- ⑤『町政ポスト』Q & A
町政への積極的なご意見、ご提案など(聖籠町の将来像、私はこう考える...)を町民の皆様から寄せていただくために、設けられたハガキによる広聴制度です。町長が目を通し、担当課で回答いたします。よりよい町づくりのために、あなたのご意見をお寄せください。

- 応募方法■
- 町政ポスト用のハガキでお寄せください。(趣味の紹介や地域の話題の情報提供は電話可) 切手を貼らずに投函できます。なお、このハガキは
 - ①役場一階の総合案内
 - ②保健福祉センターの窓口
 - ③町民会館の窓口
 - ④診療所の窓口
 - ⑤図書館のカウンター
 の5か所に設置してあります。どんどんお寄せください。
 - なお、氏名・住所・電話番号の記載のないものは掲載いたしませんので、必ず記入してください。(匿名希望、ペンネーム希望と書いてくだされば名前は掲載しません)
 - ※投稿原稿の趣旨を変えずに削ったり直したりする場合がありますので、ご了承ください。
 - 採用された方には、図書券を差しあげます。
- ☎ 聖籠町役場総務課 広報担当 ☎ 27-2111 (内線226)

「トライアスロンは ずっと続けたいライフワーク」



▲ トライアスロンを始めた当初から愛用している腕時計



▲ スイムの後のバイク、これから長い距離を走り抜けます

今月は次第浜にお住まいの佐藤 幸喜さんをご紹介します。
佐藤さんの趣味は「トライアスロン」。2000年シドニー大会からオリンピックの正式種目となったトライアスロンですが、佐藤さんは1988年から始め、今年で19年目のベテラン・トライア

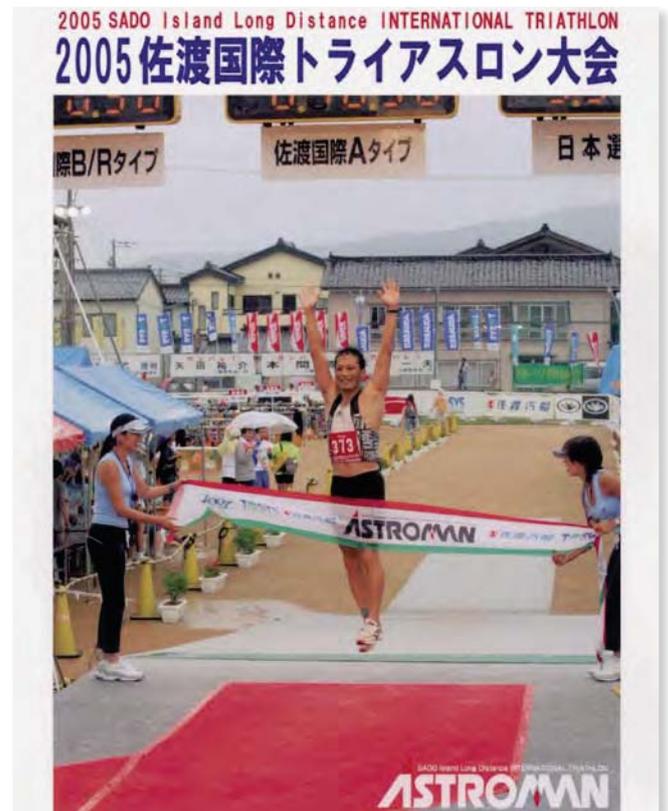


佐藤 幸喜さん(次第浜)

スリートです。
当時日本ではトライアスロンは導入されたばかり。サイクリングやマラソンなどを元々やっていらした佐藤さん、先輩が始めたのを見て、ご自分も挑戦したのがきっかけだそうです。
1989年には初めて、今でこそ有名な「佐渡国際トライアスロン大会」が行われ、第一回目から毎年欠かさず出場されている常連選手です。おととしの佐渡大会では水泳3・8km、自転車190km、マラソン42・2kmを十一時間四十九分の自己新記録で完走された佐藤さんですが、若い頃には水

分補給不足で脱水症状に陥り、ラスト1kmで倒れ病院に運ばれたこともありました。
佐藤さんの奥様は、お子さんが赤ちゃんだった頃は育児にも協力的で、お仕事がどんなに忙しくてもトレーニングや大会出場を止めない姿を見て、とても感心したそうです。「トライアスロンを続ける楽しさはどこにありますか」と尋ねると「終わった後のビールのおまじな」とにこやかに答えられ、無理なくご自分のペースで楽しみながら競技を続けられる様子が伺えます。
現在は新潟県トライアスロン連

合(NTU)の新発田市内を中心としたチームの会長を務めておられ、大会の審判をされることもあるそうです。「十代二十代の若い人、男女問わずトライアスロンに挑戦してみたい」とトライアスロンがもっとと広く普及することを願って、後進の育成にも意欲的です。
そろそろ春も間近。ランニング、自転車とトレーニングは年間を通して冬場も欠かさない、根っから体を動かすことが好きな佐藤さん。今年の佐渡大会出場への始動は、すでに始まっています。



▲ 無事に完走！